

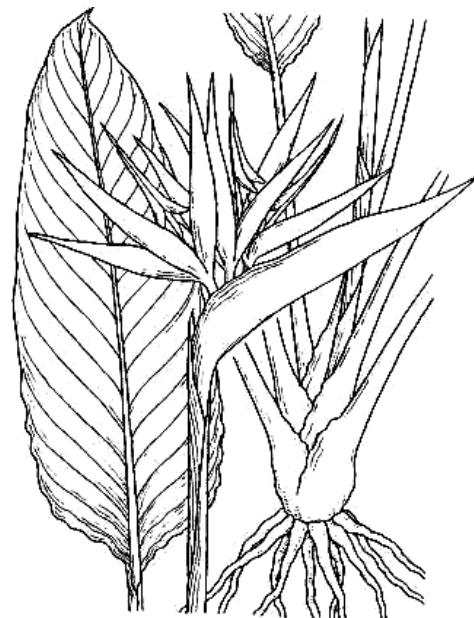


色彩館に咲く

ストレリチア

Strelitzia reginae

ストレリチア科ストレリチア属
原産地：南アフリカ



一度見たら忘れられない花

ストレリチアは南アフリカに分布する多年性植物です。低木または高木として扱われ、バナナに似た楕円の葉を持ち、苞（ほう）と呼ばれるくちばし状の所から鮮やかなオレンジや白色の花を咲かせます。和名では「ゴクラクチョウカ」と呼ばれ、こちらの方がピンとくる人も多いかもしれません。以前はバナナと同じバショウ科と分類されていましたが、近年ではストレリチア科と位置付けられています。切り花としても利用され、主に沖縄、神奈川、静岡、滋賀が生産地となっています。インパクトのある花姿と、花もちが良いことから、ホテルのホールに飾るアレンジメントやテレビ番組の装飾として使われる他、和名から「極楽浄土」に結び付けられ仏花としても使われます。

ストレリチアの名前の由来は、イギリス国王ジョージ3世の妃になったシャーロットの旧姓シュトレリッツにちなんで名付けられました。ちなみにジョージ3世は植物愛好家でもあり、彼が治めていた時代はアメリカ独立戦争を始め、フランス革命やイギリスが世界の工場としての地位を築くなど、イ

ギリスの歴史の中で多くの出来事があった時代でもあります。発見したのは、イギリスのフランシス・マッソンという人物です。イギリスの王立植物園、キューガーデンの庭師として籍を置いていた彼は、ジョージ3世の命により南アフリカに派遣されました。ストレリチアはその時にイギリスへ持ちこまれ、日本には明治5年に渡来しました。

ストレリチアは4種ほど種類があります。その内の2種は色彩館南国植物温室に植栽されており、1つはストレリチアレギナエ (*Strelitzia reginae*) という種です。草丈1m程度、オレンジや黄色の花を咲かせます。もう1つは草丈が10mにもなる大型種のストレリチアニコライ (*Strelitzia nicolai*) です。葉の密集した部分から30cm以上の花が2個から5個固まって咲き、その姿はまるで草むらから鳥が頭だけ覗かせているように見えます。

ストレリチアは系統の分化が進みつつありますが、栄養系の品種は作られておらず、まだまだ研究途中の植物です。将来研究が進み、変化に富んだストレリチアの姿を見てみたいですね。



当園のバラは二番花が段々と咲き終わり、次はいよいよ秋花の開花を待つのみとなりました。夏の一齐開花の豪華さとは違い、その一輪一輪の深い色味と濃厚な香りが秋バラの醍醐味です。なぜそのような違いが出てくるのかというと、夏と秋では日照時間と気温差が変わってくるからです。秋は昼と夜の気温差が大きく、日の出は遅く紫外線も少ないです。その結果開花期が長くなり蕾が膨らむのは時間がかかりますが、その分蕾には十分な色素が溜まり色味が深い色へと変わります。香りにも同じことがいえますが、香り成分が凝縮され、より濃厚な香りになります。また秋は温度、湿度共に低くなるので周りの木々などの香りも抑えられ、バラの香りを長く濃く楽しむことができます。よりそのバラの本来の花容を見ることができる秋バラは、9月中旬頃より見ごろとなりますので是非当園に足を運んでみてください。

秋花知らずしてバラ、語るべからず。

いわみざわローズフェスタ 2016
IWAMIZAWA Rose Festa

9/17^{SAT} ▶ 25^{SUN} 9:00 ~ 17:00

秋

- 朝のローズツアー ●バラ園のひみつ、大公開！
- ハンドセラピー ●限定ショップ etc

蚊の話

ぶ～ん。

お盆が過ぎ、暑さも徐々に和らいできました。それでもまだ、耳元でこんな羽音を聞くことがあるかと思います。蚊は、扇風機の風でも吹き飛ばされてしまう弱弱しさとは裏腹に、伝染病を媒介さ

せることで「地球上で最も人類を殺害する生物」という恐ろしい面も持ち合わせています。普段は植物の蜜や果汁を吸いますが、メスのみが卵を育てるのに必要なたんぱく質を得るために、栄養価の高い動物の血を吸います。

ところで蚊の漢字の由来をご存知でしょうか。実は「ぶ～ん」と飛んでくるから虫偏に「文」と書くそうですよ。絶妙なセンスですね。

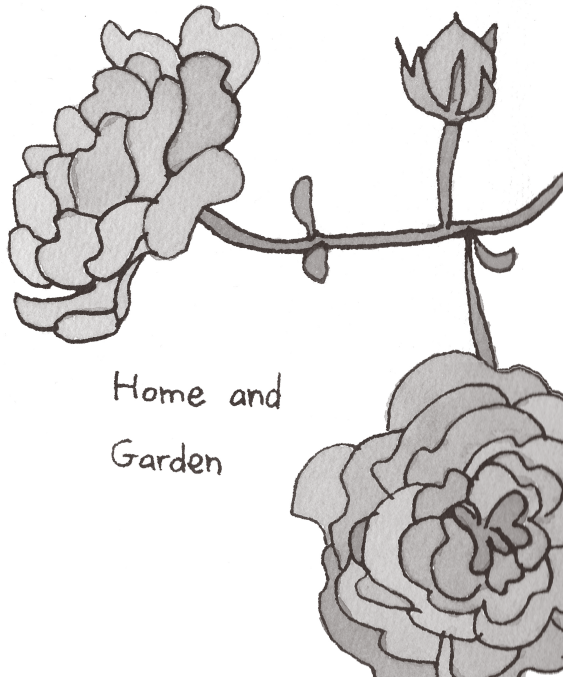
よしなしごと

ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗
(イラストレーター)



第三十回

フロリバンダローズ

ホーム & ガーデン

Home & Garden

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：2001年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Gräfin Sonja × Seedling × Immensee
(Shrub, Kordes 1982)

強健性でまず名前が浮かんでくるのがこの品種です。ドイツで有名な育種家・コルデスによって作出されたバラで、無農薬栽培でも全く問題無く生育し、綺麗な照葉を秋遅くまで展開し続けます。花は中輪の明るいピンクのロゼット咲きでオールドローズを思わせるアンティークな花形です。強健性に続き多花性が抜群に良く、花保ちも非常に良いので開花時には花で株が覆い尽くされます。系統はフロリバンダローズになりますがシュラブローズとして扱うことができます。樹勢は横張り性であり、剪定の切り戻し方にもよりますが半つる状の樹形になります。

香りも強香であれば文句なしなのですが残念ながら微香です。この品種の交配親でもあるグレーフィンソニアという品種はハイブリッドティーローズで花卉の表と裏で色が異なる美しいバラです。グレーフィンソニア自体も微香なので、他に掛け合わせたバラも香りは弱い

ものだと考えられます。ホーム & ガーデンの交配の過程をみていくと数多くのシュラブローズを掛け合わせてできていることが分かります。香りを重視する方もいますが、これだけ試行錯誤されて生まれた優秀なバラだと微香であろうと気にならなくなりますよね。

この品種は私のおすすめ品種の一つでもあり、数あるモダンローズの中でも自宅で栽培するなら一番ほしいバラです。まさにこの品種は「ホーム & ガーデン」という名前の通り、ご家庭のお庭に合うぴったりのバラだと思います。

当園で栽培しているこの品種は今年も一番花、二番花と安定して病気も少なく開花を見せてくれました。秋のローズフェスタが開催される9月中旬頃に照準を合わせて手入れに入りましたので、一番花の圧巻のボリュームには敵いませんが、秋バラ特有の香りと花色が深まったホーム & ガーデン、是非一輪一輪ご覧になってお楽しみください。

9月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 9月11日(日) 13:00~15:00 秋に楽しむ寄せ植えを作ろう
料金: 2,000円~ (容器代は別途) 定員: 10名
講師: 高橋 かつえさん フラワーマスター
- 9月18日(日) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方
無料 定員: 40名 講師: 伊達 佐重さん 北海道自然保護協会
- 9月24日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑦~バラを自分で殖やして楽しもう
無料 定員: 40名 講師: 工藤 敏博さん ローズグローワー
- 9月25日(日) 13:00~15:00 草木染めフェルトで作るバラのブローチ
料金: 800円 定員: 20名 講師: 木下 京子さん フラワーマスター
- 10月2日(日) 13:00~15:00
ローズツアー 秋バラが輝くバラ園を散策
無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ
- 10月9日(日) 13:00~15:00
ローズツアー 秋バラが輝くバラ園を散策
無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ
- 10月9日(日) 13:00~15:00 秋植え球根を楽しもう
料金: 2,000円 定員: 10名
講師: 高橋 かつえさん フラワーマスター
- 10月22日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑧~豪雪地岩見沢で無事に越冬させる方法
無料 定員: 40名 講師: 工藤 敏博さん ローズグローワー
- 10月30日(日) 13:00~15:00 庭木の冬囲い方法
無料 定員: 40名 講師: 久保 隆さん 馬淵建設株式会社